

# 人材育成部報告

大津市障害者自立支援協議会

## 2020年度の報告

<概要>

2020年度は、もともと、  
従来通りの対面での研修ですべての予定を組んでいた。  
4月の緊急事態宣言以降、  
取り組んだことのないオンライン研修を手探りでやり始めた。  
そのため、予定通りに取り組めなかった研修もある。

## 取り組めた研修 おおつ合同新人研修

\*新人研修はできるだけ当事者の方に講師をお願いしている。

タイトル	開催日	講師	参加人数
①（対人援助とは）	7月27日	松岡啓太、坂本彩	35名
②（身体障害のある方への支援）	8月4日	中川佑希、染井将仁	32名
③（精神障害のある方への支援） （就労）	8月14日	白杉滋郎、杉山更紗 当事者	32名
④（知的障害のある人への支援）	9月4日	坂本彩、当事者	38名
⑤（当事者の話を聞く）	9月14日	めざす会	36名

## 取り組めた研修 相談支援専門員研修

相談支援初任者研修 インターバル	10月16日	松岡啓太、 坂本彩
相談支援現任研修 インターバル	2月5日	松岡啓太、 坂本彩

## 取り組めた研修 共催研修

行動障害支援者養成研修 (基礎研修過程)	1/19～20	大津市主催	37名
行動障害支援者養成研修 (実践研修過程)	2/4～5	大津市主催	35名
虐待防止研修全体 (防止センター共催)	10/13、27	坂本彩、加納雪絵、 重富紗希	45名

## 取り組めなかったもの

- 中堅職員研修
- JJP研修会
- 人権研修「性的マイノリティ」
- 救命救急
- 個人情報保護と支援者の連携のあり方
- 相談支援専門員虎の巻 ケース会議編
- サービス等利用計画とホームの計画
- ケアマネ協と相談支援に関する意見交換会

2020年度は333名の参加であった。

2019年度は675名の参加であったので半分程度になっている。  
2021年度は、基本的にオンラインでの開催で準備して、  
録画による見逃し配信も活用しながら参加者を増やしたい。

## 2021年度の計画

<概要>

新人・中堅などの階層別研修。人権研修。等  
大津市全体で取り組んだ方がよいものを中心に取り組む。  
コロナの感染状況が読めないので、  
基本的に「オンライン研修」+「見逃し録画配信」  
で準備を進めていく。

## 予定している研修 おおつ合同新人研修

新人研修①（対人援助とは）	5月
新人研修②（大津の障害福祉）（就労）	6月
新人研修③（身体障害のある方への支援）	7月
新人研修④（精神障害のある方への支援）	8月
新人研修⑤（知的障害のある人への支援）	9月
新人研修⑥（当事者の話を聞く）	10月
新人研修⑦（ふりかえり）	11月

\* 新人研修はできるだけ当事者の方に講師をお願いしている。

## 予定している研修 人権研修

\* 性的虐待・性被害支援プロジェクトとして取り組みます。

第 1 回	6 / 10	「境界侵犯— 精神分析から学ぶ、関係・権力・倫理」	宇治黄檗病院 精神科医師 国本正善氏
第 2 回	8 / 5	「性暴力がもたらすトラウマの影響」 ～障害のある方が被害にあった場合も含めて～	NPO法人 レジリエンス 中島幸子氏
第 3 回	11 / 22	「セクシャルハラスメントはなぜ起こる？」	Facilitator's LABO (えふらぼ) 栗本敦子氏

## 予定している研修 福祉の魅力発信研修

福祉の魅力発信プロジェクトとして取り組みます。

福祉の周辺にいる学生に学ぶ
---------------

秋
---

他にもいくつか計画はしているが、  
感染状況によって、  
グループワークなどの演習ができないということもあり、  
開催方法、開催時期などを検討中

## 福祉の魅力発信プロジェクト

2021年度人材育成部取り組み

ねらい：障害福祉職場で働く人を増やす

内 容：「福祉」と接点のない学生に、この仕事の魅力を伝える

## 福祉の魅力発信プロジェクト

「福祉」に興味があり、福祉学科で学ぶ学生へのアプローチの仕方は知っているが、現在の人材不足の状況は

「福祉」とまだ出会っていないが社会課題の解決に興味がある若い人たちに、この仕事の魅力を伝えていく必要がある状況。

「福祉の周辺」にいる若者が「これは魅力的だ」と感じるのが、「福祉の中の人」には、あたりまえすぎて魅力だと気づかず、  
→発信できていないととらえ、

「福祉の周辺」にいる人から「福祉」の世界がどのように見えているかを探り、そのアプローチの方法を探る。

## 福祉の魅力発信プロジェクト

### 「福祉の関係人口」を増やす

「障害福祉に就職する」だけでなく、  
「障害福祉と関係している人」を増やす。

街の中で、スーパーで、駅で、本屋で、コンビニで。  
そのことが障害のある人の暮らしやすさになる。

### ① アンケート調査の実施

対象者：学生（学部・学科問わず）

知りたいこと：「福祉」の世界は彼らからどのように見えているか。どのようにアプローチしたらよいか。

- (1) アンケートの設計
- (2) 予備調査：10名程度に予備調査を実施、修正
- (3) アンケートを広く実施
- (4) 結果報告会を開催。大津市内の事業所に向けて結果を報告し、リクルートに役立ててもらう。

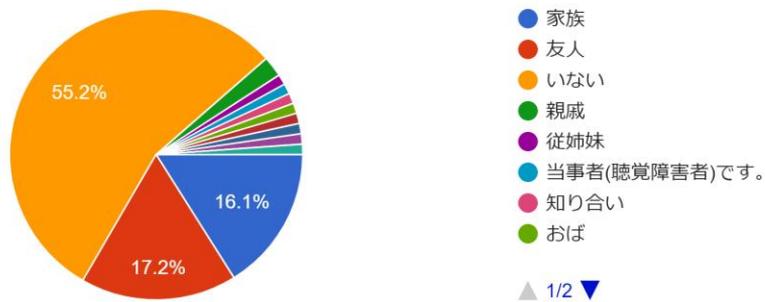
### 将来の進路として、障害福祉の仕事を選択肢に入れていますか

87件の回答



### あなたの身近に障害のある方はおられますか

87件の回答



## 予定している研修 福祉の魅力発信研修

福祉の魅力発信プロジェクトとして取り組みます。

福祉の周辺にいる学生に学ぶ
---------------

秋
---

### ② 学生がよく見る媒体を使っての発信

(1) 「福祉の周辺」にいる人の立場で、障害福祉事業所等で働く人を取材する。

(2) 取材した内容を、なんらかのweb媒体に掲載。

- ・学生の立場からは、福祉職場の知りたい情報を得られる内容
- ・事業所の立場からは、「なにを見られているのか?」「なにを知りたいのか?」がわかる内容

(3) web媒体のリンクを自立支援協議会のHPなどに貼る。

★「福祉の周辺にいる人」の定義…社会の課題解決に興味がある人達。環境問題やSDGs等に関心がある。

**取材に行きますので  
ご協力ください！**

**\* イチオシの若手をご紹介ください**